

令和2年度第2回牧之原市地域公共交通会議

日 時 令和3年1月6日（水）午前10時～
場 所 相良庁舎4階会議室
出 席 者 別紙のとおり

1 開 会
2 挨 拶
3 議 事

委員25名中21名（欠席：横山副市長、鈴木委員、堀内委員、辻村部長）の出席により会議成立。

（1）地域間幹線系統に係る単独継続困難の申出路線の運行について・・・（承認）

- ・生活交通確保計画案（資料1）
- ・運行状況（資料2）
- ・地域間幹線系統事業評価（資料3）

【質疑応答】

（学識 石川委員）

地域間幹線は市を跨ぐ大変重要な路線。関係市町と行っている利用促進策はあるか。

（事務局）

ジャストラインは行っているが市町が連携しての施策は行っていない。

（南山大学 石川委員）

今後は考えていただきたい。

（伊豆原座長）

個々の市町で行っても意味がない。圏域ごとに情報交換体制を整えている地域もあるので、事務局にお願いしたい。

（2）自主運行バス路線等の運行について・・・（承認）

- ・生活交通確保計画案（資料4）
- ①自主運行バス
- ・運行状況（資料5）

【質疑応答】

（学識 石川委員）

鬼女・菅山線の広報の方法は。市HPに広域路線図が掲載されているが、鬼女・菅山線が載っていない。

（事務局）

広域路線図はジャストラインの路線のみで、鬼女・菅山線は別に載せている。

（伊豆原座長）

利用が小学生のみのためか。

（事務局）

そのとおり。時間、本数から地元以外の利用は難しい。地元には周知している。

（伊豆原座長）

小学生しか利用できないと思っている方もいるのでは。

(事務局)

地元の一般利用も稀にある。地域協議会では説明している。

(伊豆原座長)

小学生は19人位乗るが、座席の余裕はあるか。

(事務局)

5～6席あるので、地元にも周知していく。

(学識 石川委員)

主な利用目的はあると思うが、自主運行バス路線に変わりはない。路線自体は広報していると思うが、他と同じ扱いにした方がよい。

②デマンド乗合タクシー（バス）

- ・利用状況（資料6）
- ・さかべ号の特定施設の変更（資料7）
- ・かつまた号の本格運行への移行（資料8）
- ・すげやま号、はぎま号の統合及び試験運行延長（資料9）
- ・じとうがた号の試験運行について（資料10）
- ・まきのはら号の試験運行について（資料11）
- ・各地区の利用状況（参考）

【質疑応答】

(警察 中村委員)

- ・牧之原市の脆弱な公共交通を充実させるようお願いしたい。免許返納も少ないため、バス利用推進の取り組みをお願いしたい。
- ・バス駐停車に対する苦情が警察にもあるということは、市民の認識はバスをあまり必要としていないということ。その認識を変えていく必要がある。
- ・免許証を返したくても返せない人も多くいるため、免許返納しても安心して生活できるような施策をお願いしたい。

(事務局)

- ・バスの乗り方教室など開催もしているが、利用に直結していない。
- ・デマンド乗合タクシーも、免許非保有者は年齢制限なく利用できるため、一層の周知をしていきたい。

(運輸支局 江間委員)

- ・すげやま・はぎま号について、すげやま号は今回申請する期間の令和4年3月末で試験運行期間が3年となり、国が定める最長3年の試験運行期間の満了を迎えるので、4月から本格運行に向けて利用状況を見ながら協議していただきたい。
- ・両路線の統合について、2つの号を統合すると運行がタイトになると思うが、事業者は対応可能なのか。

(事務局)

統合ではあるが、実際にはすでに乗合可能な時間設定をしているので問題はない。非効率な場合には、2台運行することも認めている。

(東海 大塚委員)

牧之原市は市民に対し手厚くやっていると思う。市民はバスやタクシーがあれば便利と言って、市もそれに答えているが、実際には利用は少ない。

(南山大学 石川委員)

- ・評価改善部会では、乗合タクシーの利用促進のために、年齢制限を無くしては、という意

見が出て私もそれに賛同したが、事務局としてはバスから客を奪うことはできないため、年齢制限が必要との考えであった。それも理解はできるため、年齢制限を維持するのであれば、免許返納に柔軟に対応することができないか。例えば、75歳未満の免許保持者に対し、試しに何回かデマンドを利用できるようにして、これなら使えそうと感じれば免許返納していただくとか。

- ・広報についても、路線バス、自主運行バス、デマンドを重ね合わせると、市内くまなく網羅し重複しているので、頑張っていることがわかるが、市民が満足していないということは、広報に問題がある。踏み込んだモビリティマネジメントが必要ではないか。

(伊豆原座長)

バス、タクシーは不便だというイメージが使う前から先行している。気軽に楽しく使える仕掛けをサロンや老人会にしてほしい。市の説明では硬く思われてしまうので、皆が誘いあって出掛けるのに使えるような施策が必要かもしれない。

(公募 増田委員)

鬼女・菅山線とデマンドすげやま・はぎま号を上手に使えないか。片道バス、帰りデマンドのような使いかできるかもしれない。

(伊豆原座長)

良い話だ。事例を示した使い方ガイドを作成している市もあるので、参考にするように。

(学識 石川委員)

片方しか使い方を知らない人もいるので、ネットワークとして、デマンド、路線バスの両方を上手に使うとここに行ける、という示し方をしてほしい。

(公募 増田委員)

- ・鬼女・菅山線で、相良局前に乗降できるよう検討してほしい。

(事務局)

- ・検討する。

(伊豆原座長)

- ・デマンドで相良局前バス停を追加しているが、道路交通法ではバス停の前後10mは駐停車禁止のため、気を付けるように。

4 報告

- (1) 評価改善部会の協議結果報告(資料12)
- (2) 特急静岡相良線の路線延伸について(チラシ)
- (3) バス停留所安全性確保対策について(資料13)
- (4) 牧之原市地域公共交通会議設置規則の改正について(資料14)

【質疑応答】

(2) 特急静岡相良線の路線延伸について

(公募 増田委員)

下りの大沢公園バス停が遠いという意見がある。たこまんから島掛信付近に移設できないか。

(しずてつ 藁科委員)

当初は、島掛信に近い付近で探していたが、地権者の合意が得られなかった。

(公募 増田委員)

引き続き検討していただきたい。

5 閉会